

平成20年度第1回 ExTEND2005 作用・影響評価検討部会 議事要旨（案）

I 日時：平成20年9月11日（木） 10:00～12:00

II 場所：虎ノ門パストラルホテル新館5階 ミモザ

III 出席者（敬称略）

委員：遠山千春（座長）、斎藤昇二、菅谷芳雄、白石寛明、藤井一則

※欠席委員：原 彰彦

参考人：井口泰泉、江藤千純、鑪迫典久、戸笈 修

事務局：木村環境安全課長他

IV 議題

1. ExTEND2005における魚類試験法開発について
2. ExTEND2005における両生類試験法開発について
3. ExTEND2005における無脊椎動物試験法開発について
4. ExTEND2005における詳細調査の検討について
5. その他

V 議事要旨

(1) 魚類試験法開発について進捗状況が報告された。

【委員からの主な意見】

- ・ OECDにおけるテストガイドライン化の手順・手続き及びその進捗状況について整理し、示してほしい。

(2) 両生類試験法開発について進捗状況が報告された。

【委員からの主な意見】

- ・ 試験法開発において使用された化学物質の環境中での検出実態について整理してほしい。

(3) 無脊椎動物試験法開発について進捗状況が報告された。

【委員からの主な意見】

- ・ 内分泌かく乱作用の評価体系の中で、個々の試験をどのような流れで実施するのかという個々の試験の位置付けや、内分泌かく乱作用の評価全体の考え方について示してほしい。
- ・ 試験法開発に関して、その達成度を判断する基準とスケジュールを示してほしい。

- (4) 詳細調査の検討として、環境中で検出され、化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告が得られた 15 物質についての文献検索結果と、報告の信頼性評価作業班の設置要綱（案）について検討された。

【委員からの主な意見】

- ・ 文献の信頼性を評価する際に用いる基準を明確に定め、公開してほしい。
- ・ 信頼性評価の結果についての概要を公開し、様々な意見を踏まえた上で、作用・影響評価部会で議論できるような体制にしてほしい。
- ・ 既不使用されていない物質についても信頼性の認められた文献がある場合には試験を実施するのか否か等、試験の実施に至る考え方を示してほしい。